

# ときめき人

Tokimeki bito

## 一代限りの 救える命を 守りたい

迫町・光ヶ丘西

### 千葉 紘子さん

ちば ひろこ  
1978年生まれ 血液型/AB型

#### Profile

「ねこあん」は市唯一の猫カフェとして2019年9月、中田町浅水にオープン。22年1月に迫町佐沼に移転し、リニューアルオープンしました。保護猫たちが癒やしの時間を提供してくれます。



ねこあんinstagram  
猫の引き取りはしていません。里親さん探しのお手伝いをしています。



店内で猫と触れあうことができる猫カフェ「ねこあん」。「主役は保護猫です。猫と同じ空間でくつろぎ、癒やされてほしい」と話すオーナーの千葉さん。元々保護猫を飼っていた千葉さんは、野良猫の現状を少しでも知ってもらえきっかけづくりとして、「カフェで猫たちにも働いてもらおう」と保護猫が活躍できる猫カフェをオープン。店を営む傍ら子猫などの里親探しも行い、救える命を一つでも多く守るための活動に力を注いでいる。

千葉さんは、野良猫が増えないよう、捕獲して不妊去勢手術を施し、元いた場所に戻す「TNR活動」にも協力している。手術済みの証として耳先がカットされた猫はさくら猫と呼ばれ、こうした活動は全国でも広がりがつつある。

「猫は繁殖力が強く、生後半年くらいから年に2、3回、5から8匹の子猫を産みます。野良猫の不妊去勢手術ができれば、繁殖を抑えて自然に数を減らすことができます」さくら猫と呼ばれるのは一代限り。この活動に賛同し、一歩踏み込み、まだ1匹のうちに対策を施してくれる人が増えることを願う。

「TNR活動の浸透はまだまだこれから」飼いがいない猫がいても、それはさくら猫。あそこに捨て猫がいたよという声が無くなることを目指す。「迷ったら相談してほしい。目標は殺処分ゼロです」と話す千葉さん。「里親さんからの近況報告がなによりうれしい」と目を細めながら温かく猫たちを見つめ続ける。

## 編集後記

▼運動不足は私と言っても過言ではないほど、コロナ禍になってから運動していません。「ながら運動」を教わり実践してみたら、結構きつけど不思議と爽快感があつて気分がスッキリ。いつでも簡単にできるので毎日継続していこうと思います。今度こそ脱三日坊主、頑張ります。(渡邊)

▼夜の長沼をともしキャンドルイベント「燈火」。風車のライトアップと相まった幻想的な雰囲気につきかり魅了されました。一方、暗い中での撮影では、明るさやシャッタースピードなどの設定に悪戦苦闘。カメラをもっと覚えなければと改めて痛感しました。(白石)

▼地域の皆さんの理解と協力で飼育する、特定の飼い主のいない猫を地域猫というそうです。野良猫を排除するのではなく適切に管理。それ以上数を増やさず、一代限りの生を全うさせる。野良猫を減らし、トラブルをなくそうとする取り組みが全国で少しずつ動き始めています。(佐々木)



#### 登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は市公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tome.miyagi.jp/>



#### 登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>

